

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
101	小松川小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	教室間の移動の際、消灯する係を複数人決め、児童の係が消灯したことを担任が確認したところ、誰もいない教室の消灯忘れが0％で達成できた。
		冷蔵庫にものを詰め込みすぎない	職員室の冷蔵庫を毎日清潔に保ち、私物を入れるときの記名100％にすることで、庫内が整頓された。記名のないものや賞味期限切れのものは、速やかに処分し、達成できた。
		パソコン、プリンタ、コピー機等を省エネモードに設定する	プリンターやコピー機は省エネモードにし、退勤する際は職員室のプリンターの電源を切るようにして達成した。
102	小松川第二小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	管理職、用務職員が校内巡視を行い、照明を必要としない場所の消灯に努めてきた。消灯への取組は高い割合で実施している。
		始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	児童登校前5分の点灯に加え、児童下校後の消灯に努めた。取組は高い割合で実施している。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	階段や廊下など、照度が十分である場所の消灯に努めた。取組は高い割合で実施している。
103	平井小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	暑さが厳しい時には、教室外から戻った際にクールダウンさせるために、冷房をつけた状態で教室を空けたこともあった。使用していない教室、廊下の消灯については、授業終了後、職員室に戻る際に消灯するように呼びかけた。また、学年間の確認の後に、日直の見回り、最後に副校長が点検することで、二重、三重に確認している。さらに定期的に消灯を呼びかけ、教職員一人一人の意識と行動を高めていく。
		コピー機を使用する際、設定を確認する/使用後はリセットボタンを押す	予備数の設定と、印刷前の向きや拡大縮小の確認に注意を払うことによって、ミスプリントが増加することなく、効果が出ている。印刷ミスを生じた場合には、裏紙として再利用することを徹底し、紙の使用数増加につながらないように努めている。
		分別を徹底する	各教室や専科教室、職員室他、分別用のごみ箱やリサイクル箱を確実に設置したことで、教職員とともに児童の意識も高めている。掃除活動後に、主事室前で最終的に分別を徹底している。それぞれのごみの1％削減にはいたっていない。教室内で再利用できるものを確認せるなどしてごみの量を減らしていく。
104	平井西小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	再度、教職員に使用しないときは、こまめに電気を消すように啓発するとともに、校内見回り等で、人が常時いない場所や使用していない教室の電気はこまめに消すようにし、目標達成できるようにしていく。
		水量を調節し、使わない間は止める	ブルー注水や排水時は、職員室黒板に書き、無駄な注水や排水がないように声掛けやブルーを見に行くことができ、達成できた。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	学校だよりを電子化することで、印刷部数を減らせた。引き続き、印刷、コピーの適正部数を心掛け、減らす取り組みをしていく。
105	平井東小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	使用しない教室は、出る際に消灯を行うことを学級ごとに徹底し取り組めた。また、普通教室以外の専科教室、印刷室等はさらに消灯の徹底を行うことができた。今後も引き続き使用削減を目指し取り組む。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	「退勤時に、机上のパソコンの電源を切る」は各自が意識をもって実践できている。最終退勤者がコピー、プリンタ等、OA機器の電源が切れていることを確認することもできている。今後も職員全体で、声をかけ合いながら実践し使用量削減を目指す。
		会議、現場などで90分以上離席する場合は、パソコンの電源を切る	90分以上の離席時には、パソコンを切ることを意識しているが、すぐに使用をすると思い切ることができなかったような場合も含め、徹底をするには、さらに意識を強化する必要がある。引き続き取組を工夫し行うようにする。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
106	平井南小	空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	・各種の啓発活動等に取り組むことができている。 ・夏季を中心とする熱中症対策としての空調利用の必要性や、校舎改築等に伴う各種調査・工事等も使用料増加の一因となっていると考えられるため、目標値の達成に向けては改善方法の検討が必要だと考える。
		効率的な業務に努め、残業を削減する	・月1回以上の定時退庁日の設定ができている。 ・在校時間記録を活用し、時間外在校時間が長い教職員に対し、個別に指導・助言・働きかけを行っている。
		分別を徹底する	・各種の啓発活動等に取り組むことができている。また、保護者（P T A）と連携した資源回収や、再利用資源を活用した教育活動の推進に取り組むことができている。 ・可燃ごみについては達成に転じさせることができた。リサイクルの啓発等について、児童・保護者と協力して取り組んだ効果を感じている。 ・不燃・資源ごみについては令和元年度からの達成を維持することができた。可燃ごみの取組と併せて、ごみの分別等に関する取組を行ってきた効果を感じている。
107	松江小	給食の食べ残しを減らす	目標に対し約5 0 0 kg多くなっている。残菜の結果を記録し、共有を図っているが、目標達成に至らなかった。各クラスで食育や環境についての指導を行い、残菜についての意識を高める。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	用紙の購入状況から、使用状況の削減について目標を達成することができている。メールに添付することで配布物を削減している。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	環境に関する学習を行うことで、意識の向上を図ることができ、電気の使用量の目標を達成することができた。
108	西一之江小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	管理職が校内を巡回した際に確認を行っている。上半期中の電気の消し忘れは約3 %であり、目標を達成できている。
		ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	エコ委員会で休み時間にエコパトロールを行い、水の出しっぱなしの水道をなくすように活動している。水道の蛇口を下に向けて、流水がないか確認することもできている。節水・節電のポスターの作成をし、掲示する。ゴミの処理の時に、燃えるゴミとリサイクルゴミの分別ができていないかの確認を行っている。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	月間4 5時間以内の時間外勤務の職員が増えてきており、8 0時間以上の職員はいなくなっている。また、職員室を中心に、電気・冷暖房を使用する部屋を必要以上に作らないようにして、対応してきた。
109	西小松川小	夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	夏は涼しい恰好、冬は暖かい恰好を推奨し、実行していたが、何分今年の夏が暑すぎたため、エアコン使用量が上がってしまった。
		給食の食べ残しを減らす	完食を目指し、指導を続けているが、休みが増えたことと偏食の児童が増えたこと、親の意識も変わってきている。子供だけでなく親の意識改革にも取り組んでいきたい。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	消灯の意識は高くなってきたが、依然忘れもあるので、管理職による巡回も続けている。
110	大杉小	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	残業時間も増えたこと、電気の消し忘れや教職員全員が1 0 0 %取り組みなかった。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	定時退勤日から定時退勤ウィークに変更したが、数値目標達成には届かなかった。もう少し声掛けを含め、検討していかなければならない。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	共通理解はしたものの、合言葉まですることができなかった。掲示等で改善を図る。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
111	大杉二小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	「電気」については、目標達成に至らなかったが、委員会活動で意識啓発のポスターの作成等を行い、教職員のみならず児童への意識啓発を図っていく。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	校務連絡ツール（C4th）を効果的に活用し、連絡事項を共有する手段としている。その成果として、会議は精選され、周知のための印刷物も減少している。
		ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	給食委員会の活動で、節水を呼び掛けるポスターを作成し、意識の啓発を行ったことが一つの要因となって「水道」の目標達成につながった。今後改めて、教職員はもとより、全校児童に対しても教室における指導のほか、全校朝会等の機会を捉えて、一斉指導を行っていく。
112	第三松江小	紙文書はコピーでの個人保有を控え、ファイリングで共有する	紙文書を控えファイリングで共有することを徹底しているが、学校ランPCが無い部屋での会議の際に紙資料を準備する場面があった。11月までは-1%を達成できている。
		ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	上半期で手洗い場等にポスターの掲示を行った。今後は教室内の掲示の充実に取り組む。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	管理職が校内を巡回した際に使用していない教室の電気の消し忘れが見受けられた。今後は週当番に役割を確実に実行させ取り組む。
113	大杉東小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	【電気 目標値69.218kwh、令和5年度91.511kwh未達成】 教職員及び全児童に節電を定期的に呼び掛けているが、残念な結果である。副校長の校内巡視の際には、全教室等を確認し消し忘れを確認している。今夏は暑い日が長く続き、また、仮設校舎のため非常に暑く、エアコンの使用率が増えた。校内の全トイレにウォッシュレットとウォームレット便座が付いているので、電気代がかかってしまっている。この調査をきっかけにして環境委員会に節電の大切さ呼びかけ取り組ませる。引き続き節電を行い、平均数値目標を目指す。
		分別を徹底する	【可燃ごみ 目標値6,489（㍲）、令和5年度7,980（㍲）未達成】 定期的に副校長がタ会でリサイクルの大切さについて教職員に伝えているが、意識の高まりが少ない。校内でリサイクルの意識を高め、引き続き平均数値目標を目指す。
		ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	【電気 目標値69.218kwh、令和5年度91.511kwh未達成・可燃ごみ 目標値6,489（㍲）、令和5年度7,980（㍲）未達成】 5年生が総合的な学習の時間にSDGSを学習している。3学期から具体的に学校全体に呼びかけ、掃除の時間にゴミ置き場に立ち分別を行ったり、休み時間に校内の無駄な電気を消す活動を行ったりする予定である。また、環境委員会にも節電の大切さと分別の大切さについて取り組ませる予定である。ポスターの作成やSDGSを意識させ、平均数値目標を目指す。
114	東小松川小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	上記の取組は毎日実施している。 しかし、本校は仮設校舎（プレハブ）のため、上層階は気温（室温）が非常に高くなり、エアコン等の電気を多く使用した。 そのため、目標達成状況が未達成である。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	職員夕会等で周知をして、電気を消したりエアコンの温度の調整を行っている。。管理職が校内を巡回した際に確認を行っている
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	最終退勤者マニュアルの作成・掲示をして、PC、プリンタ、コピー機等の電源が切れていることを確認している。
115	船堀小	紙文書はコピーでの個人保有を控え、ファイリングで共有する	・校内配付文書など、可能なものは全て裏面を使用している。 ・今後は印刷ミスや無駄な印刷を極力なくし、紙の使用量を抑えていくと同時に、校内メールをさらに活用し、紙媒体の削減に取り組んでいきたい。 ・また個人保有の紙文書が多く、目標達成できていないので、下半期に向けてファイリングの共有を浸透させていきたい。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	・衣服等での調節を呼び掛けたり、空き教室の空調機の停止を徹底するなどして、下半期の使用を抑えるよう努める。
		分別を徹底する	・不燃・資源ごみ、生ごみに関しては分別や再利用の成果が出ており、排出量の減少に繋がっている。 下期に向けて引き続き減らしていくとともに、可燃ごみの減少にも努めていきたい。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
116	船堀第二小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	下校後の消灯は、担任に責任をもって確認するよう、夕会などで全員で確認した。階段や廊下なども、日直が日誌に必ずチェックするよう心がけ、目標を達成できた。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	教室に児童がいる間は、温度が下がってきたら、切るのではなく、設定温度を調節するようにした。（エアコン始動時の電力消費を避けるため）取り組みは、全職員、徹底することができた。
		昼休みは業務に支障がない範囲で消灯する（消灯できる照明を把握しておく）	中休み、昼休みは、ほとんどの児童及び教員が外に出て外遊びをしている。毎日約30分間、教室を消灯する時間を捻出できたことが目標達成に貢献していると考えられる。
117 210	葛西小・中	始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	・毎日、午前午後の校内巡視の際、空き教室の消灯については細かく確認している。放課後、教室で業務をしている職員には、職員室で行うように声をかけた。 ・職員室の共有部分に、節電・消灯についての注意喚起の知らせを掲示するとともに、打ち合わせの際に呼びかけを徹底した。 ・職員の時間外勤務については激減している。「働き方改革」と連動させて、今後も指導・呼びかけを続けていく。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	・チェックリストに載せることで、いつも戸締りをする職員は定着したが、そうでない職員へは今後も呼び掛ける必要がある。 ・始業前の部分点灯については職員に周知徹底し、最小限の電気の消費で過ごした。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	・冷蔵庫をこまめに点検し、庫内のものの量や消費期限などを確認した。気になるようなものがあるときには、打合せや職員会議、また校内LAN掲示板で状況を職員に知らせ注意喚起をした。 ・記名については、徹底されてきた。今後も呼びかけをしていく。冷蔵庫に入れたものを忘れてしまう職員がいて、それをいかになくすることが今後の課題である。
118	二之江小	分別を徹底する	紙類はなるべくリサイクルにした。年間排出量を令和4年度排出量の85%にすることは、現在の推移から想定すると難しい。移転が完了し通常の学校運営となることから、来年度は目標達成に向けてリサイクルの推進を行う。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	残業時、教員は職員室で業務に取り組んだ。日ごろから空き室は消灯し、日光がふんだんに入る箇所も消灯した。 令和5年度使用量については、7月以降旧校舎（旧二之江第三小学校）の分も加算しているため、現在の学校生活で使用した量を表す正確な数字ではない。
		水量を調節し、使わない間は止める	学習で水を使用するときは、水を流し続けることなく必要な分のみとした。新校舎ではトイレが自動洗浄となっているため、使用量が多くなっている実態があった。自動洗浄を止めたところ、使用量を減少させることができた。
119	二之江第二小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	夕会やC4t hなどで、各教員に使用していない教室はこまめに消灯するよう伝達している。 管理職が校内を巡回したときには、9割が消し忘れなく消灯している。 残り1割が、消灯できるよう再度伝えていく。
		夏季：ブラインドやカーテンを閉めて遮熱する	猛暑の夏季には、ブラインドやカーテンを使い、直射日光を遮ることは100%できた。エアコンと換気とを常時同時には行わず、時間を決めて80%を行った。 冬季も、換気を常時行うことなく、時間を決めて行っていく。
		日光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	日光が差し込む場所は、消灯するように全教職員に伝え、実施中である。 管理職が校内を巡回した時には、8割は消灯できている。 もっと徹底できるように、どここの場所を消灯するか決めていく。
120	第二葛西小	日光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	目標を超える回数の見回りを実施し、こまめな消灯、明るさの調整を心掛けている。また、残業時間も削減できている。学級数、教員数が増え、需要が高まっていることもあり、目標数値の達成は厳しい状況であるが、引き続き努力をしていく。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	早い時期から気温の高い日が多くなり、一時的にであっても空調の使用を抑えることは現実的に難しい状況であった。そんな中でも、つけっぱなしについては管理職、看護当番の見回り等により、定期的に確認しOFFするように努力した。
		水量を調節し、使わない間は止める	プールの失水は無い。水道の出っぱなしもほとんどなく過ごしているが、やはり水泳指導の本格実施は、適正な水位で行おうとすれば水を使用することは免れない。節水の意識は各自もっていると感じている。下半期は水泳もないので、引き続き意識を持ちながら、年間でのような結果になるかを注視していきたい。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
121	第三葛西小	空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	・教室での授業がないときや放課後は、できるだけ職員室で仕事を行うようにし、節電に対する行動は概ねできている。 ・教室移動の際の消し忘れはしばしば見られるため、管理職の見回り等を行い、意識を高めていく。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・教職員の消灯の意識は改善傾向にあり、週番の確認表で漏れがないように取り組んでいる。 ・区小教研や近隣の研究発表など、全員出張の日には消灯忘れが増えるので、事前の打ち合わせを行うようにしている。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	・共用機器の電源について、最終退庁者が切ることもあるが、在勤者が数名になった地点で互いに声を掛け合い、消し忘れがないよう取り組めている。
122	第四葛西小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	消灯は学校全体で取り組みを行った。児童も担任の指導のもと、積極的に取り組んでいた。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	パソコンを閉じる取り組みは常に意識しており、授業時の職員室のパソコンは、ほぼ閉じている。タブレットの充電も、終わり次第ケーブルから外している。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	印刷機、シュレッダーは、利用後すぐに電源を落とすことが習慣化できている。コピー機、プリンタは各設置場所の安全管理責任者、または直直が対応している。
123	第五葛西小	残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	残業をしている職員がかなり減り、１８時頃には学校を施錠していることが多い。達成している。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	まめに見回りをし、電気が点いていれば消している。週番でチェックシートを作成し、上半期中の消し忘れはなく目標を達成できている。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	連絡が紙媒体のことが多く、印刷ミスなどがあり、まだ改善の余地がある。
124	第六葛西小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	日中の人がいない教室の電気の消灯忘れが０％にはならなかった。トイレは自動点灯であり、更衣室の消灯は出来ている。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	放課後の教室の無駄な消灯は無かった。玄関や廊下などの消灯はさらに実施可能である。
		始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	こまめに管理職が消灯している。職員の意識をさらに高めたい。
125	第七葛西小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・目標を達成できた。 ・朝は、職員が出勤しても、児童が登校して来る８時１０分まで消灯状態にしている。 ・日直の巡回時に消灯することをほぼ実行している。 ・廊下の照明を半減することはまだ実行できていない日が多いため、さらに推進していく。
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	・目標を達成できなかった。 ・クールビズは実施したが、さらに異常気象で教師内の気温が高い日が続いたため、クーラー設定温度を２２度以下することができなかった。（設定を２２度以下にしているもその温度まで全く下がらなかった。） ・５月連休過ぎからすでに高温の日が続き、冷房開始時期を早めざるをえなかった。暖房利用開始は１２月以降にできた。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	・紙の使用量を３０％減らすことができなかった。使用量は昨年度より増えてしまっている。 ・昨年度までの取り組みに加えて、今年度は新たに、職員会議を年３回に減らす、職員用回覧をＣ４ｔｈで行うなどの紙利用を減らす努力と改善を行っている。さらにできることがないか検討していく。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
126	南葛西小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・節電を意識して取り組んでいる。校内で仕事をする際に、無人の教室の照明がついていた際には消灯するようにしている。また、主事が日々の見回りの際、点検してもらい、消し忘れがないように注意している。職員トイレの電気センサーについて、6分間で消灯から、1分間に時間変更をした。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	日直の放課後の見回りの際に、廊下の照明は消しているものの、教室のモニターや階段の照明が消されていないことが多かった。今一度共通確認し、モニターの電源、階段の照明も消すようにしていく。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	・最終退勤者が、OA機器の電源切り忘れをしっかりと確認をし、対応している。
127	南葛西第二小	分別を徹底する	可燃ごみ、不燃・資源ごみについては、3年度と同じもしくは下回ったが、目標値にはいたらなかった。生ごみについては、9月から3か月給食室の改修が入っているので達成は当然かと考える。
		コピー機を使用する際、設定を確認する/使用後はリセットボタンを押す	特定の人による使用量の増加が見られたので、個別に指導して削減を目指している。他の人にも啓発を行っているので減少している。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	ガスは、目標を達成している。電機は、目標未達成であるが、エアコンの調子が悪かったためかと考える。
128	南葛西第三小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	教室移動の際は、担任が照明を消し、その他日直や管理職による校内巡視により、使用していない教室・廊下の照明を消す等、消し忘れ防止に努め8割は達成できた。しかし、テレビ画面やエアコンの消し忘れが見られたので、全体へ周知し、細部にわたり危機意識をもって確認することを徹底する。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	戸締りに関して、最終退勤者が責任をもって行い、記録簿にも最終退勤者がしっかりと記録を明記するなど8割達成できている。一方で更衣室の自動消灯装置が常時点灯モードに切り替わっていたことに気づかず、照明が付いたままになっていたことや、プリンターの電源が入ったままになっていたことが散見されたので、最終退勤者は、時間に余裕をもって確認するよう周知した。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	管理職、生活指導主任、用務主事が連携を図り、組織的に取り組んだことで前年比－1％を超え、目標を達成した。
129	西葛西小	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	周知しているが、時々切り忘れがあるので、徹底する。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	周知しているが、時々切り忘れがあるので、徹底する。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	周知しているが、時々切り忘れがあるので、徹底する。
130	新田小	分別を徹底する	・可燃ごみは、上半期目標を達成できなかった。リサイクルを行っているが、さらなる分別が必要であることが分かった。 ・落ち葉の堆肥活用を実施しているが、敷地内に樹木が多いため、堆肥作りの場所を整備することに取り組んでいく。
		夏季：ブラインドやカーテンを閉めて遮熱する	・夏季、ブラインドやカーテンを閉めて遮熱することや、適切に喚起すること呼びかけた結果、電気及びガス使用量の目標が達成できた。 ・6月にエアコンの調子が悪くなった際に、早急に点検、フィルター清掃等の対応を行うことができた。
		給食の食べ残しを減らす	・毎月の朝の給食指導の内容を工夫し、全学年が理解し、意識して食べ残しを減らすことにつながった。 ・生活科や総合的な学習の時間に、給食室や農家について学んだことで、食べ残し削減の意識が向上した。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
131	宇喜田小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯することについては、意識が高くなってきているので、掲示物を新たに作成し、クラス等に掲示して啓発していく。夏日の多かった今年は、冷房の頻度が高く、使用頻度が高かった。冬の寒さは、ガストーブを使用することで、電気代の削減に努めていく。
		分別を徹底する	・4月当初に分別方法の確認を行い、可燃ごみの削減に努めていることもあり、現在、目標値を達成している。今後も現在の取組を続け、職員と児童ともに、分別の意識を持ちながら学校生活を送っていく。
132	清新第一小	離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	離席時にパソコンのふたを閉じる習慣については、ほとんどの職員が意識している。日中は、気づいた職員や管理職が、パソコンの蓋閉じたりしている。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	職員一人一人が退勤時にPCなどの電源を切ることを意識している。最終退勤者は、PC電源や電気ポットなどの電源の消し忘れが内容に確認している。電源の消し忘れは、ほとんどない状況である。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	人のいない教室については、積極的に消灯することを全職員が心がけている。特に放課後は、早い段階で週番の職員が見回りを行い、消灯するようにしている。トイレについては、自動消灯スイッチが設置されているため、使用しない時は自動的に消灯するようになっている。
133	清新ふたば小	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	最終的には消し忘れは防げているが、点検するまでつけっぱなしの状態の時がある。各教員がさらに意識して消し忘れを防ぐ。
		給食の食べ残しを減らす	食べ残しが減ってきている。さらに食育を進める。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	消し忘れは少ないが、たまに消し忘れていることがある。気づいた教員が消灯するよう意識させる。
134	臨海小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	○4月初旬に全教職員に対し周知した。 ○4月中の達成率が芳しくなかったため、5月中旬に再周知を行った。 ○教職員による9月の達成率は93%であった。校長・副校長が校内巡視の際に確認・消灯を行うことで100%達成できている。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	○9月の達成率は95%であった。 ○最終退勤者が職員室以外にいたときに他の職員が気を使って電源を入れたままにしている時があり、気付かず退勤していることがあった。職員室に誰もいなければ電源を切ることを推奨することで、2月までに100%達成を目指す。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	○職員室は北側に面しているため、晴天時であっても照明を消すと校務に支障が出ることが分かった。 ○職員が不在の座席周辺を消灯することで省エネを図った。
135	東葛西小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	教室移動などで使用していない教室やトイレ・更衣室は管理職が巡回している際に消し忘れがなかった。
		やかんを火にかけるときは、まわり・底の水滴を拭き取り、火がはみ出ないようにする	主事が必ず湯を沸かす時に、やかんのまわり・底の水滴をふき取り、火がはみ出ないようにしており、管理職が見かけた時は守られていた。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	離席時のパソコンのふたを閉じる行為は、1学期中に定着し、いつ見ても離席時はふたが閉じられている。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
136	瑞江小	空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	できるだけ使用教室を限定し、使用していない教室等の空調はこまめに停止した。冷房の設定温度を極力高めにして、服装を調節した。エアコンを稼働させてもほとんど効かない教室が複数発生し、最終的には夏季休業中に業者に依頼が室外機や配管も含めた大規模な修理を行った。修理が済むまでは他教室の冷房をフル稼働させ、廊下を通して冷房が不調の教室の温度を下げた。夏季の電気使用量が目標値に届かなかった理由の一つと考えられる。
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	教職員についてはクールビズ・ウォームビズの推奨により空調への依存を減らすことができた。児童に対してもSDG sに関する指導の中でクールビズ・ウォームビズを推奨し、空調機器に頼りすぎない姿勢や行動の促進を図った。とはいえ、毎年のように記録を更新する猛暑の中で冷房の使用を躊躇することは児童の健康・安全にかかわる。各年度の猛暑の実態によって電気使用量目標値の修正、変更を希望したい。
		両面印刷や集約印刷を心掛ける	両面印刷をはじめリサイクルなどにより紙類の使用量削減が達成できている。一方で、これまでは冊子や紙面などの形で都や区教育委員会から送られてきた各種資料や学力調査個人票などについて、最近ではデータで送られてきて各学校でプリントアウトせよという方式が増えている。その分各学校での紙の使用量は増えざるを得ない。
137	春江小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・朝の校内見回りの際、トイレ等を確認し、電気・換気扇について人感センサーに反応するように設定している。また、社会科や総合的な学習の時間で学んだことの一環として、節電や節水を呼び掛けるポスター等の掲示を校内で行っている。児童下校後は、多くの教員が職員室で作業をする様子が見られる。一方で夏場など不在教室の冷房や更衣室の電気がついたままになっていることも見られた。児童が戻ってきた際、教室を涼しい状態にしておくためかもしれないが、こまめな節電をお願いしていく。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	基本的には、PCを使用していない場合にはスリープモードになっている教員がほとんどである。パソコンの蓋を閉めずには長時間離席する教員もいるが、スリープ状態になっているため、画面も消えた状態になっている。
		パソコン、プリンタ、コピー機等を省エネモードに設定する	電源についてはプリンタの消し忘れが多く見られた。コピー機については省エネモードに設定されている。PCについては個別に管理し、消し忘れることは多くないように感じる。
138	新堀小	水量を調節し、使わない間は止める	上半期は目標を達成できなかったが、夏季休業中のプールの再開などで増加したと考えられる。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	日直を中心としてこまめな消灯を徹底したが達成できなかった。窓を開けての冷暖房を行なったためと考えられる。
		給食の食べ残しを減らす	食べられる量の調整や呼びかけを行なったが達成できなかった。下半期は更に食べ残しを減らし目標を達成できるように目指す。
139	下鎌田小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・教室移動等の際の消灯はおおむね達成できた。校内巡視の際も人がいない教室で明かりがついていることはほとんどなかった。 ・教職員ができる限り職員室で仕事をするようにした。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	・学校から発行する手紙はほとんどデジタル化し、必要に応じて紙ベースでの配布とした。 ・行事のアンケートもデジタル化した。 ・児童数が昨年度に比べ大幅に増えたため、授業で使うワークシート類などコピー用紙の使用量は増えている。
		分別を徹底する	・ごみの分別を進めることで、紙類のごみを減らすことができている。 委員会の活動等はあまり活発に行えていなかったため、今後、働きかけていく。
140	下鎌田東小	印刷、コピーは適正部数を心掛ける	校務支援システムを活用し、会議等でも、教職員はペーパーレスを意識して取り組んでいる。また2学期から、配布文書を「tetoru」や学校ホームページを活用したデジタル配信に切り替えた。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	冬になり、各教室等で暖房を使用する際は、エアコンではなく、ガスストーブを使用するよう、会議で教職員に周知を行った。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	日々、日直の教員、副校長が校内を巡回し、消灯の確認を徹底している。現在のところ、消灯忘れはゼロである。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
141	江戸川小	空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	電気については、こまめな消灯、消し忘れないよう皆で注意し合ったことが一因と考える。今後も啓発していく。
		分別を徹底する	SDG s の呼びかけで、児童も教職員もごみの分別意識が進み、行動に移すようになったことが一因と考える。今後も、啓発していく。
		冬季：ブラインドやカーテンを昼間は開けて採光し、夜間は閉めて遮熱する	ガスについては、こまめにスイッチをOFF、消し忘れないよう皆で注意し合ったことが一因と考える。今後も啓発していく。
142	一之江小	残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	職員夕会での周知や個別の声かけ、日直による見回りでの消灯の徹底により目標達成することができた。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	各人の意識の高まりと、外部支援人材の方々の協力もあり、こまめな電気の消灯を徹底した為、達成できた。
		給食の食べ残しを減らす	生ごみは、目標未達成となった。年に二回、SDG，S 週間で残さず食べる習慣をつけるということを実践してきたが、数クラスで給食を最初の時点で全て配れず、おかわりできずに残菜となる場合があった。残債削減について教員間での意識の徹底をさらに図っていく。また、欠席児童の多くなる日は、事前に食材を減らすなど、工夫して、残菜について減らす努力をしていく。
143	一之江第二小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所では、消灯するように心がけていたが、ときよりトイレの消灯がされていないことがあった。そのため、達成できていない。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	離席時にパソコンのふたを閉じることは、ほぼ100％実行することができている。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	電源のシャットダウンは、できていないことが多かったため、80％程度の達成である。
144	鹿本小	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	教職員の意識が高まり、こまめに電源を切るようにしている。また、日直の確認及び最終下校者の校内チェックも定着しており、100％電源が切れているようになっている。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	こまめに電気の消灯をしており、教職員も意識して取り組んでいる。ほぼ目標を達成できているが、達成率は95％程度である。
		裏面利用を徹底する	ほとんどの教職員は裏紙を利用しており、利用率は90％以上を達成している。
145	鹿骨小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	日直を照明消し忘れのチェックをする担当とした。 管理職や用務主事が校内を巡回した際に確認を行っているが、上半期中の停止忘れはほとんどなかった。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	教職員には、教室を空ける際は、まず空調機や暖房機を停止させることを一番に実施させるようにしている。 管理職や用務主事が校内を巡回した際に確認を行っているが、上半期中の停止忘れはほとんどなかった。
		裏面利用を徹底する	裏面使用が定着してきて、紙ボックス内の用紙がなくなることも増えてくるほど裏面使用率が向上している。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
146	鹿骨東小	昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	業務に支障がない範囲での消灯について、児童の意識が向上してきた。不必要な点灯が見られなくなってきた。ただし、教室移動の際、点けはなしが散見されるので、教員の意識を向上させていきたい。
		始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	児童が消灯している姿を多く見られた。しかしながら、夏季には空調の点けはなしがたびたび見られた。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	徐々に、児童の意識が高まり、自ら消灯している姿が見られるようになった。むしろ、大人のほうに行動の甘さがある。
147	松本小	空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	・常に声を掛け、できるだけ仕事は職員室で行うようにした。電気量は目標いかにいった。
		紙文書はコピーでの個人保有を控え、ファイリングで共有する	・少しずつ便りの電子配信を行っている。まだ、実行できていない部分もあり、目標値にはいかなかった。また、学校改築に向け整理をおこなっていることも一つの要因となっている。
		沸かしたお湯をそのままにせず、すぐにポットへ入れる	・ポットでの使用を常に心がけた。目標値を達成することができた。
148	本一色小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	目標値を達成することができた。電気は、どうしても消し忘れがちになるため、教室移動の際には、教員が最終確認するように取り組んだ。また、エアコンも必要がない時は、消すようにした。
		給食の食べ残しを減らす	目標値は未達成であったが、給食委員会・担任の給食指導・栄養士・調理員の方々の協力で、食品ロスについての啓発を行った。できるだけ給食を完食しようと児童も取り組んでいる。また、お昼の放送でのメニュー紹介や、プリントの配布など工夫している。今後も、取り組んでいく。4年生は学習発表会で、食品ロスについて発表し、残量を減らすよう、全校児童だけでなく、保護者や地域の方々にも呼び掛けた。
		水量を調節し、使わない間は止める	目標値を達成することができた。水を出しっぱなしにしないよう、各学級で指導を行って意識化を図った。
149	篠崎小	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	電気の使用量について目標達成状況は、未達成である。7月に新校舎への引越をして全てのOA機器及び電気ポットなどの横に退勤時の「電源OFF」の表示をした。退勤時に機器の電源を切ることにについて徹底することができている。日中に職員が離席をする時はパソコンのふたを閉じるように声掛けをして少しでも電力消費を抑える行動の習慣化を図っている。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	新校舎のトイレ、更衣室、倉庫は人感センサーによって未使用時は確実に消灯されている。各教室、廊下の消灯については目直が見回って使用者が声をかけていることで職員の節電についての意識が高まった。新校舎になって照明が全てLED化され太陽光発電が設置されたことにより消費電力がどの程度削減できるか確認していく。
		温水便座の使用後はふたを閉める	温水便座の使用後にふたを閉めることについて、職員には徹底している。児童には全校朝会で「もったいない運動」の話をする中で温水便座について伝えることができた。目直の見回りから使用していない温水便座のふたがほぼ100%閉まっていることが確認されている。これからも全校朝会で2か月に1度は「もったいない運動」に触れる話を児童にしていく。
150	篠崎第二小	離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	スリープモードになるように声掛けを続け、忘れていた職員のパソコンは、閉じて回った。机上整理・環境整備は、4月から伝え続け、心掛けるように周知した。職員室も環境整備を行った。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	電気は、細目に切ることを伝え続けてきた。教室を離室するときや、電子黒板を使用しないときは、電源を切ることも伝え徹底してきた。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	最終退勤者の退勤時チェックリストを作成して、漏れがないように徹底した。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
151	篠崎第三小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	電気の使用量は目標を達成することができた。しかし、授業中に校内を見回ると、使用しない教室だが消灯されていない時がある。消灯し、教員に伝え、目直や係児童に対しての意識付けを高めるようにしていく。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	電気の使用量は目標を達成することができた。しかし、2階ギャラリーや一部廊下が遅い時間までついていることがあり、徹底できていない。教職員、民間用務に伝え、消灯を徹底していく。
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	ガスの使用量は目標達成できなかった。温暖化のため、しっかりとクールビズ、ウォームビズの時期を示すことができなかったが、冷暖房の一斉管理により、過剰な使用は行っていない。今後も続けていく。
152	篠崎第四小	昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	・管理職が、1日2回、校内を巡視し、不必要な電気やエアコンのスイッチを切ってきた。 ・上半期中の目標は十分達成できている。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	・児童が常時いない教室等において、空調機の停止を行うことができた。 ・上半期の目標は十分達成できた。
		裏面利用を徹底する	・印刷されたものでも裏紙を使用するよう、裏紙用のコーナーを印刷室に設けた。 ・まだ、十分に裏紙が使われていない場面もみられるので、下半期も引き続き裏紙を使うこと、なるべく印刷せずに、データで共有するなど実践していく。
153	篠崎第五小	分別を徹底する	可燃ごみについては、取り組み目標の－10％に対して、本校は－9.5％であった。燃やすごみの中にリサイクルできる紙が見られる時がある。より分別を徹底するために、管理職が教員への声掛けを行う、環境委員会の児童が放送や朝会で全校に呼びかけるなどの取り組みを行ってきたい。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	電気の消費量については、取り組み目標に対して、－15％の削減を実施することができた。教室間を移動する際には児童の中の当番が電気を消したり、教員がチェックを行ったりすることで、人がいない教室の電気の消灯忘れは少なくなったと感じている。
		ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	水道の使用量に関しては、令和3年度の12.7％となり、令和3年度以下にするという目標を大きく下回ってしまっている。児童の水道の使い方を見ていると、水を出しっぱなしにしたまま手を洗う、道具を洗うなどの様子が見られる。節水を呼び掛けるポスターをすべての階に掲示しているが、あまり効果が見られていない。児童が節水を意識できるような取り組みを今後考えていく。
154	南篠崎小	水量を調節し、使わない間は止める	必要時以外は水道の栓を止め、無駄な排水はしないように心がけてきた。そのため、節水の意識が高まり目標値の達成につながった。
		分別を徹底する	リサイクルの意識が高まりつつあり、ごみの分別等が以前より的確に行われてきた。不燃ごみが月によって増えてしまう。教育活動における取組や季節の特徴によって差が生じるが、多くなってしまう月の特徴をとらえ、減らしていける工夫を考えていく。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	使用していない教室の電気を消す等といった取り組みが日常化されたことで電気使用率が目標値よりも大幅に下回った。今後は、暖房を使う機会が増えてくるが、使用していない教室では必ず消すといった意識を保っていけるように働きかける。
155	鎌田小	離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	牛乳パックはすべてリサイクルとして出すことができた。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	電気の消灯の徹底を夕会等で継続的に伝え、校内巡回でも注意してみている。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
156	小岩小	空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	空調をこまめに切めることは概ね実施できた。しかし、退勤時の見回りによって切り忘れが見つかったことや更衣室等使用頻度が低い部屋がつけっぱなしということもあった。そのため、もう少し徹底できることもある。喚起システムにより必要に応じた空調機器の使用ができた。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	概ね実施できた。共用部を一括で消灯できるため、放課後は一旦消灯。必要なところのみ使用することを継続していく。
		水量を調節し、使わない間は止める	児童も無駄がないように使用している。プールの水量にも細心の注意を図り、無駄がないようにした。プールを中学校に貸し出ししているために、本来の水量よりも大きく増加してしまっている。
157	東小岩小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	管理職が校内を巡回した際に確認を行っている。上半期中の消し忘れはほとんどなかった。今後も継続して行う。クラスでも電気の消灯忘れを防ぐように、日直の仕事や係活動を活用しながら意識を高めていく。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	C4thの掲示板を活用して、情報の伝達や共有を行っている。引き続き、活用していく。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	教員が意識して行うことができた。今後も継続して行う。今後も、児童の日直の仕事や係活動も活用しながら意識を高めていく。
158	下小岩小	残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	○残業時は可能な限り職員室で業務をするように促している。 ○残業時間自体を短縮するよう教職員に呼びかけている。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	○職員夕会時に月ごとの電気使用量を伝達し、節電意識の向上を図っている。 ○印刷室など責任の所在が不明瞭な共用部分の節電を特に呼びかけている。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	○教室不在時はエアコン等のスイッチをオフにするよう児童の係活動を活用して実践している。
159	上小岩小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	学級担任、日直の照明消し忘れチェックについての声掛けを夕会などの場で確認をした。管理職が校内を巡回した際に確認を行っているが、上半期中の消し忘れはなく目標を達成できている。
		給食の食べ残しを減らす	食育担当、給食委員会による完食への取組、各学級での食育指導を行った。前年度比-3%であった。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	会議での学校LAN、iPadの活用による積極的なペーパーレス化を進めたが、紙ベースでの情報伝達の機会も多く、今後さらなる取組が必要である。
160	上小岩第二小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	朝夕の校内巡視で、使われていない教室や廊下の電気を必ず消灯するようにしている。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	退勤時には、必ず電源を確認し、切り忘れないようにしている。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	職員室以外に離席するとき、教職員がパソコンのふたを閉じることが多くなった。 下半期は全員が取り組むようにする。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
161	西小岩小	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	校務支援システムや夕会などでも周知徹底してきたことにより、忘れずに電源を切るなどが習慣化してきた。教職員の節電への意識が高まってきたことにより、席を外すときには、デスクトップを閉じるなどの工夫を自主的に行う教職員が増えた。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	概ね消灯できているが、時折消し忘れがあるため、声の掛け合いや夕会等での注意喚起を行うことにより、節電意識の向上を図った。管理職が校内を巡回した際に確認を行っているが、消し忘れはほとんどなかった。目標達成につながったが今後も一層の取組を行う。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	日直を照明消し忘れのチェックをする担当とした。また、夕会等でも適宜声掛けを行い、節電の意識向上につなげた。教職員の意識の向上が児童にも伝わり、学校全体で節電に取り組むことができた。管理職が校内を巡回した時にもほとんど消し忘れは無かった。
162	上一色南小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	未使用教室等の消電を進めるため、毎営業日に担当者（副校長補佐）が教室を巡回し消電を行っている。 また、巡回の記録を取り、節電が行われていない担当者（学級担任・専科教諭等）に注意喚起を行い改善に努めている。
		昼休みは業務に支障がない範囲で消灯する（消灯できる照明を把握しておく）	中休み、昼休みに担当者（副校長補佐）が施設を巡回し、未使用教室の消電を行っている。 また、巡回の記録を取り、節電が行われていない担当者（学級担任・専科教諭等）に注意喚起を行い改善に努めている。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	中休み、昼休みに担当者（副校長補佐）が施設を巡回し、未使用教室の消電を行っている。 また、巡回の記録を取り、節電が行われていない担当者（学級担任・専科教諭）に注意喚起を行い改善に努めている。
163	南小岩小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・その日の終わりに、日直を中心に、電気の消し忘れ等をチェックするとともに、環境委員会を中心に、全校に啓発を図ったが、十分な削減には至っていない。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	・会議資料は、適正枚数の使用を心がけるとともに、職員会議はパソコン上のデータで行うなど、印刷部数の削減を図った。
		分別を徹底する	・週数回の職員夕会において、事あるごとに、分別の意識付けをしたこと。また、掃除の時間においては、用務主事等が、ごみの分別の指導を各学級へ行った。
164	南小岩第二小	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	日中は管理職が校内巡視をして点検をしている。放課後に日直による見回りを行い消灯に努めている。電気使用量は１５％削減できている。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	放課後の日直による見回りで消灯をした後は、作業する部屋のみ点灯している。電気使用量は１５％削減できている。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	教室移動の際はエアコン・ガストーブを消したり、夏は28度設定、冬は20度設定を目標にしたり削減に努めている。ガス使用量は10％削減できている。
165	中小岩小	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	各教室で使用しないときは照明を消すことを徹底した。また、職員室ドアに電源オフ掲示をして、職員の意識を高めるようにした。管理職・日直が校内を巡回した際に確認も行っているが、目標は達成できていない。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	職員室での残業はできているが、一部教員が夜中まで仕事をしてしまうため、電氣量が増えてしまった。一定時間で電源がOFFになるシステムの導入が必要である。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	消灯は各職員に徹底させたため、消し忘れがなく効果はあった。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
166	北小岩小	シーフォース・全庁ポータルを活用する	タブレットや校務パソコンのC4thを活用し、紙での連絡を極力減らしている。意識付けとしても浸透してきている。さらに、校内での活用に関しては、裏面利用を促進し、紙の使用量の削減に取り組んでいる。
		効率的な業務に努め、残業を削減する	定時退勤日の設定や在校時間の削減を職員に意識付け、時間外における勤務は削減することができている。年次有給休暇の利用率も昨年度に比べて促進でき、長期休業日が中心ではあるが、高まってきている傾向である。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	電気の節電に関しては、校内の照明機器のLED化の影響もあり、令和3年度に比べ、13%の削減を達成することができた。こまめな節電にも取り組んでいて、双方の効果があったのだと思う。
201	小松川中	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	意識を高めるために、職員室のポイントとなる場所に 掲示物を貼って、職員全体に周知したことで節電につながった。
		始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	生徒が登校するまでは不必要な電気はつけないようにする。また、下校時間を過ぎて使用していない教室は電気を落とすことを周知したことから節電につながった。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	校舎全体が明るいために、日中は必要ないところの電気は消している。そのことから節電につながった。
202	小松川第二中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	使用する教室や特別教室の消灯について声掛けを行い、多くの場面で実施されている状況を確認できた。 トイレは自動消灯機能があるが、オフになっていることがあり、消灯率を上げることが今後の課題である。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	昇降口等、生徒・教員が使用しなくなる時間帯に、必要最低限の光量とし、消灯する取組が習慣化している。 廊下の電気については、残留している生徒や教員への配慮から消灯されていないことがあるため、こちらも課題である。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	学校LAN教員用PCについては、ふたを閉じた状態での退勤が常態化している。 HP用共有PCについては、ふたが開いた状態での退勤も見られるため、声掛けや張り紙等による周知を徹底する。
203	松江第一中	空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	授業や部活動の終了時に、職員や生徒は意識して消すことができていた。また終業後の見回りでも消し忘れないか毎日確認をした。ただ体育館の夜間開放の空調消し忘れが何回もあった。校内での声掛けはもちろん、体育館では看板なども設置して、引き続き「消し忘れを0にする」ことを続けていきたい。
		給食の食べ残しを減らす	美味しい給食が提供されており、職員や給食委員会を中心とした「残菜0」の声かけがなされている。中には好き嫌が多い生徒もあるが、アレルギー以外では、出来る限り喫食するよう引き続き声掛けをしていく。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	トイレは自動点灯・消灯となっているので、使用していないトイレは基本的に点灯は0となっている。ただ、何かのタイミングで連続点灯になる可能性もある。終業後の校舎内の見回り時にトイレについても確認をして、自動点灯に切り替えるようにしている。
204	松江第二中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	各学年、学活清掃後に消灯をお願いしている。 昨年度より放課後の消し忘れは減っているが、0%を目指す努力を学校全体で行っていく。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	職員会議や運営委員会などの資料がデジタル化し、ペーパーレスが進んでいる。 そのため、印刷の仕損じや余分に印刷することが減り、結果的にごみが減っている。
		効率的な業務に努め、残業を削減する	働き方改革を進め、時間外業務時間の削減を呼びかけている。一斉退勤日を設け、電力の削減を図っている。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取り組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
205	松江第三中	コピー機を使用する際、設定を確認する/使用後はリセットボタンを押す	ほぼ達成できた。副校長、事務職員が逐次点検している。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	ほぼ達成できた。副校長が巡回時、消灯を確認している。
206	松江第四中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	教室の電気について、教職員間で共通認識のもと、こまめに消すことができている。
		始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	基本的な節電はできている。端末の電源については、スリープ状態のまま帰宅するケースがたまにあるため、帰宅時や休眠前など、長時間使用しない場合はオフにするよう促していく。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	職員間で共有する資料について、紙で出す必要のある書類以外はデータ共有をすることができている。再生紙の購入量も、昨年度と比較し、-14.3%削減することができている（9月30日時点）。
207	松江第五中	分別を徹底する	分別を徹底し、可燃ごみの排出目標を達成できた。
		物品購入の際は、適正量の購入や環境への負荷が少ないものを選んで購入する	不燃・資源ごみの排出量が目標値を超えてしまった。原因は不明。引き続き、物品購入の際、適正量の購入等に努める。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	電気・ガスの使用量が目標値を超えてしまった。猛暑が長期間におよび冷房の使用頻度が高かったためと思われる。
208	松江第六中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	生徒会本部および生活委員、学級委員の確認により、教室移動時の電気消灯については実施できている。放課後は店頭箇所が必要な場所にしばらくして節電に努めることができている。
		ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	区から送付されたポスターも活用しながら、省エネリサイクルについての啓発活動を行うことができている。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	会議の印刷部数を必要最小限にする意識は浸透してきている。コピー用紙の購入量は、上半期の比較で前年度より約20%削減できている。
209	二之江中	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	最後の退勤者が、電気、ガスなどの電源が切れていることが確認できるようチェック欄を設けたため、消し忘れが減り、電気使用量にも反映できた。
		始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	始業前の点灯を必要最低限にすることができた。特に玄関と職員室までの廊下、また職員室の点灯のみを徹底させることができた。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	終業後の日直の見回りにおいて必要最低限の点灯のみを達成することができた。引き続き電気使用量が押さえられるよう周知していきたい。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
211	葛西第二中	印刷、コピーは適正部数を心掛ける	業務ICT化により目標達成ができたと考える。引き続き、専念していく。
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	空調の適正温度や、カーテンでの遮光遮熱の実践は図れた。一方で校舍改築に伴い、体育館の使用頻度が上がったことによる巨大施設の空調管理が大きな消費電力における課題と考える。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	職員への声掛け、意識づけを行う。また、退勤時にも必ず電源が消えているか確認を行うことはできたと考える。
212	葛西第三中	両面印刷や集約印刷を心掛ける	業務支援の人材を活用し、印刷室の整理や環境整備を行い、紙類やICT機器の活用しやすい環境を整えた。ただし、印刷物の精選が不十分で目標の達成に至らなかった。まだまだ無駄な印刷が多いこともあり、ペーパーレス化でメールの活用や一人一台端末の活用を促進したり、紙での配布について、必要性を考え実施するよう、心がける。下半期にも継続して取り組む。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	早めに校内巡回をし、活動終了時に不要な電気の消灯や、冷暖房機器の電源をOFFにするのは徹底はできた。だが、つけっぱなしや不要な使用はまだあるので、節約だけでなく、安全・防犯の意味でも全体に呼び掛け、周知する。また、効率よく仕事を進め、OA機器の使用時間を抑えていく。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	C4 t hの個人連絡で重要事項についてなるべく連絡するようにし、朝打合せや職員会議でも周知し、意識して活用するようになってきた。またアンケートや調査を紙類ではなく、Formsなど電子化し、印刷を少なくした。しかし徹底できている教職員とそうでないものがあるので統一して活用できるよう、学年・分掌単位でも呼びかけを行い、書類の提出もC4thを活用して電子データで提出・実施するなど工夫していく。
213	南葛西中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	生活委員を照明消し忘れのチェックをする担当とした。管理職が校内を巡回した際に確認を行っているが、上半期中の消し忘れは少なく目標を達成できている。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	声掛けを行い、実施を進めたが、１００％とはいかなかった。引き続き、節約に努める。
		水量を調節し、使わない間は止める	漏水が見付かり、施設係に対応してもらった。現在は漏水がない状態である。引き続き、節約に努めていく。
214	南葛西第二中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	上記目標はすべて実施した。上記に加え、廊下階段等も日中は消灯を徹底するなど全校挙げて節電に取り組んだ。結果、目標値を大幅に下回る使用量となり達成できた。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	上記目標は、ほぼ達成できた。印刷室及びコピー機前に「印刷前の必要部数の再確認と印刷ミスによる用紙の無駄に注意」を掲示し注意を呼び掛ける。上記に加え、リサイクルを徹底した。
		効率的な業務に努め、残業を削減する	勤務時間外の会議設定の禁止と、留守番電話の設定は実行できた。定時退勤日は設けたものの実行は難しかった。部活動や放課後活動、放課後学習教室の実施を中止しなければ実現は厳しいと思われる。委託業者による放課後学習教室が教員の勤務時間外に設定されているのは問題だと考える。
215	西葛西中	ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	まだ実施できていないので、取り組む。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・「校舎内節電中」の掲示物を校舎内の随所に掲示した。 ・午前・午後巡回を行い、不要な照明を消灯している。
		分別を徹底する	分別の徹底はできているが、ごみの持ち帰りが浸透していないので継続して取り組む。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
216	東葛西中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	電気使用量が減少している。職員同士の声かけがみられるようになった。継続して声かけを徹底していく。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	電気使用量が減少している。意識は浸透してきているが、全員が達成できていない状況である。声かけを続けていく。
		会議、現場などで90分以上離席する場合は、パソコンの電源を切る	電気使用量が減少している。意識は浸透してきているが、全員が達成できていない状況である。声かけを続けていく
217	清新第一中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	授業の始まりのたびに校内巡回を行い、教室の電気の消灯を徹底した。この夏のエアコンの使用料については、仕方ないと感じている。下半期は廊下、エアコンの消灯を徹底する。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	年度当初、啓発ポスターを職員室に掲示した。さらに見やすくしていく。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	年度当初に啓発ポスターを掲示した。日直巡回を行い、OA機器の電源が切れていることは徹底できている。
218	清新第二中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	取り組みは行っている。しかしながら、気象の関係もあり、使用量の増加に至ったと思われる。昨年度同様程度に抑えることを目標としたい。学校開放の利用団体にも呼び掛ける。
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	取り組みは行っている。しかしながら、気象の関係もあり、使用量の増加に至ったと思われる。昨年度同様程度に抑えることを目標としたい。学校開放の利用団体にも呼び掛ける。
		両面印刷や集約印刷を心掛ける	ペーパーレス化に取り組み、全職員の意識を高めることはできている。紙以外の資源ごみの減少にも努めていきたい。区役所からくる書類やチラシ等もすべてデータにしていきたい。
219	瑞江中	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	消し忘れがあった際は、本人に直接伝え、朝の打ち合わせでも注意喚起を行った。消し忘れは2日で目標は達成した。
		冷蔵庫や冷凍庫の中身を定期的に確認する	月に一度校内にある冷蔵庫や冷凍庫の中身を副校長が確認している。所有者不明の物は処分することを伝え、実際に処分できている。
		給食の食べ残しを減らす	欠席する生徒が例年に比べ多いが、それに合わせて各クラスの配食を行えている。上半期における生ごみの目標値に対する実際の量の割合は、99.7%とほぼ目標値と一致していた。今後も喫食時間の確保など努力をし、給食の食べ残しを減らしていく。
220	瑞江第二中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	管理職等が校内を巡回した際に空き教室の照明の確認を行っているが、上半期中の消し忘れは完全には解消できなかった。
		空室・不在が長い部屋は、空調機の停止、強弱の調節を行う	管理職等が校内を巡回した際に空き教室の窓や扉の確認を行っているが、上半期中の閉め忘れは完全には解消できなかった。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	軽微な案件の教職員への周知は校務支援システムを活用することが定着してきたが、企画会議・職員会議のペーパーレス化は実現できなかった。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
221	瑞江第三中	会議、現場などで90分以上離席する場合は、パソコンの電源を切る	学級数増に伴い、授業数が増え、教職員の時間的余裕がないため、パソコンの電源をこまめに切ることが難しい現実がある。しかし、意識して閉じている教職員も増えている。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	前年度と比較して、見回りが強化され、消灯や加湿器、エアコンの消し忘れは減っている。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	上記取組を実行している教職員は増加傾向にある。
222	春江中	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	・最終退勤の職員が機器の電源確認をして退勤し、その結果を日誌に記入している。消し忘れについては管理職が報告を受けて職員へ注意喚起している。これにより、無駄な電力の浪費は回避され、エアコンについても効果的に利用できるように、状況（換気の必要性あり）に合わせた使用をしている。また、朝の打合せなどでも環境への意識の醸成やコスト削減について教職員に周知している。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	・使用していない時間帯においての電気の無駄使いを防ぐために、細かな消灯活動を実施している。これによりC o 2削減に役立っている。また、経済的な面でもプラスとなり、光熱費の削減にも貢献している。教室の電気を消す習慣は学校全体でも広がっており、小さな行動が大きな影響をもたらしている。
		会議、現場などで90分以上離席する場合は、パソコンの電源を切る	・使用していないときに電源を切ることは、シンプルでありながらエネルギーの節約には重要である。しかし、突発的な対応などもあり完璧に実践できている状況ではない。こまめに電源を切ることで無駄な電力の消費を防ぎ、環境への負荷を削減する主体的な貢献をうながしていく。小さな行動の積み重ねができる学校を目指していく。
223	鹿本中	給食の食べ残しを減らす	生徒の意識は向上しているが、生ごみの削減目標には若干届かなかった。 更に給食だより等を活用し、意識させていきたい。
		冬季：ブラインドやカーテンを昼間は開けて採光し、夜間は閉めて遮熱する	冬季に向けて実施していく
		水量を調節し、使わない間は止める	生徒会活動による広報で、今後、更に意識が高めて行きたい。
224	鹿骨中	昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	校内の使用していない場所の消灯やグラウンドの照明など無駄を減らし、電気使用量の減少を目指してきた。今後も継続し目標達成を目指す。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	5％の目標は達成できなかったが、ポスター等によるSDGsへの呼びかけにより生徒の意識が向上している。感染症予防のため、冷房を行いながら、換気をおこなっている状況があるが、使用していないときのクーラーの切り忘れなどないよう普段から生徒、教員を含め心掛けていく。
		残業時はいったん消灯し、必要箇所のみ点灯する	目標達成までには至っていないが、定時退勤日などの設定で、働き方改革の意識が職員にも浸透してきた。残業をできるだけ減らし、電気灯の使用料を減らしていく。
225	篠崎中	始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	朝会等での呼びかけによって、無駄な点灯をなくすことができたが、気温が高い日が続いたため、エアコン等の使用頻度が高くなり、目標達成には至らなかった。
		コピー機を使用する際、設定を確認する/使用後はリセットボタンを押す	印刷ミスによる余分なミスプリントの軽減を行うことはできたが、予備プリントの印刷による余剰プリントが発生した。余剰プリントについては、裏紙使用等により、再利用を100％行っている。
		水量を調節し、使わない間は止める	生徒会等による呼びかけによって、節水の意識は高まっているが、歯磨き指導等により水道使用量は増加している。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
226	篠崎第二中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	教室移動等で使用しない教室の消灯の意識付けはできている。また、教職員も更衣室や印刷室使用後の消灯の意識をもつことができてい る。校内のスイッチの位置に節電の表示を行うことで必要のない廊下や玄関などの消灯も行えている。
		給食の食べ残しを減らす	ポスター作成や階段にSDG'sの理念を提示するだけでなく、栄養士が企画して給食委員会を中心にSDG's給食の取り組みを行い、生徒に働きか けている。
		印刷、コピーは適正部数を心掛ける	入念な原稿確認を継続するとともに、不要となった印刷物をサイズごとに管理し、用途に応じて印刷物裏面をリサイクルして使用してい る。
227	小岩第一中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	トイレは感知式により、削減ができています。 利用教室以外の照明やエアコンの電源OFFができています。 下半期も継続していきます
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	クールビズなどを取り入れることで、エアコンの温度を過度に下げることなく対応ができ、達成することができました。 下半期も継続していきます。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認 する／電源を切る	
228	小岩第二中	分別を徹底する	燃えるごみの量は増えてしまったので、燃えるごみとして出していたものをさらに分別しリサイクルするようにする。
		給食の食べ残しを減らす	残食の少ないクラスを表彰することで各クラスの意識は高まった。今後はそれを生ごみの削減につなげていく。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認 する／電源を切る	最終退勤者は確認しながら、電源を消すことができています。消費電力量を減らしたい。
229	小岩第三中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	管理職から節電への協力を呼びかけをし教職員の意識を高めた。また、巡回をして使用していない教室の電気やエアコンのスイッチを切っ た。
		最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認 する／電源を切る	職員室の電気機器の消灯、電源を切ることは徹底して周知し、実施できている。
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	クールビズ、ウォームビズの意識は全教職員とも高い。生徒、教職員の健康状況を第一に考えて無理のない範囲でエアコンやガスの使用を している。
230	小岩第四中	使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	空き教室・廊下・玄関の節電に努め、スイッチのある場所に、生活員委員会で電源を切るメッセージを貼り活動を促進させた。 ただし、点灯0にはできていない。
		夏季期間はクールビズ、冬季期間はウォームビズを実施する	・クールビズ・ウォームビズ期間を宣言し、管理職も積極的に実施し、働きかけをし、100％実施できた。
		離席時にパソコンのふたを閉じる（スリープモードにする）	使用していないパソコンは、閉じる習慣100％を目指す。先生方に呼びかけを行ったが、まだ不十分なところがある。

令和5年度上半期「学校版もったいない運動」取り組み状況

No.	学校（園）名	目標値を実現するための具体的な取組み（令和5年度目標）	目標に対する取り組み状況
231	小岩第五中	裏面利用を徹底する	職員室のリサイクルボックス、裏紙ボックスには、分別の方法を掲示し、ある程度たまるとすぐにSSSが裏紙活用用にハンコを押して印刷室に移動している。また、会議のときは、両面印刷または裏紙印刷を用いている。
		シーフォース・全庁ポータルを活用する	連絡はできる限りシーフォースでメール回覧しているが、実施要項などを各教員が各自プリントアウトしていることも少なくない。内容によっては、裏紙を利用して印刷したほうが無駄がない場合もあるので（インク代という意味でも）判断するよう伝えていきたい。
		冬季：ブラインドやカーテンを昼間は開けて採光し、夜間は閉めて遮熱する	下校時に、カーテンを束ねることを徹底し、退勤時に日直（教員）が見回るとき、できていない場合は束ねるなどし、朝の陽が教室に降り注ぐようしている。
232	上一色中	始業前の点灯は必要最低限にする（あらかじめ必要な照明を把握しておく）	上記の具体的な実施はできていた。必要のない箇所は点灯していない。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	生活委員や学級委員が中心となり、エアコン・照明・暖房のON・OFFを教室の移動のたびに行うことができていた。また、管理職が校内の巡回をする時に、消し忘れの確認を行った。生徒だけではなく、学年の教員も注意していく。
		ポスター等を作成、掲示し、省エネ啓発活動を行う。	美化委員会の活動で節水・節電のポスターを作成し、委員会活動を徹底した。下半期は、さらに啓蒙活動を行い、呼びかけも行っていく。
301	船堀幼	最後に退庁する人は、パソコン、プリンタ、コピー機等のOA機器の電源が切れていることを確認する／電源を切る	見回りの際の職員の確認は行っているが、日中OA機器は園内の設置数の数が限られているため職員の使用頻度が高く電源を切ることが難しい。今後も職員への声掛けを徹底する。
		使用していない教室、トイレ、更衣室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する	使用していない保育室、トイレの消灯は徹底している。エアコンは猛暑による熱中症対策のため節電することが難しかった。職員への意識付けは引き続き行う。
		昼光が射し込む場所は、業務に支障がない範囲で消灯する	玄関ホール、ホール、廊下などの消灯は職員の意識が高く、業務に支障がない程度にできていた。今後も引き続き意識していく。